

ジェンダー視点で留意する避難所とは

女性委員の声を積極的に取り入れる

議員 災害避難所は、仮設住宅建設までの長期間にわたり、その場所での生活を余儀なくされる。避難所内では、プライバシーが守られない等トラブルの大きな要因ともなる。女性や子どもが巻き込まれるケースも見られ女性への性暴力やDVの悪化等の被害の報告もある。しかしこれまでの教訓が生かされず繰り返し起きているなかで、女性・子ども等が安心安全で人権が守られる避難所運営は、

議員 避難所運営の際にジェンダー視点で留意していることは。

危機管理監 防災会議に女性委員が3割以上参画し女性委員の意見を積極的に取り入れるとともに、今後の訓練や防災学習において男女問わず幅広い年代の方がらの声を聞き、より良い避難所運営が実施できるよう検討を重ねていく。

防災危機管理課長 一般的に避難所は体育館となる

が、授乳室や更衣室となる場所には、職員が目視できるようにし出入りの安全に配慮していく。

議員 子ども食堂は、昨年小佐野公民館で開催され温かい食事の提供だけでなく、地域の方々や中高生など勉強、遊びなどで交流できたとの報告があるが、課題と今後の方針を伺う。

市長 子ども食堂は、子どもの居場所になるとともに地域住民の皆様、ボランティアの皆様との世代間交流の機会ともなり子どもたちを見守る環境づくりにつながる取組になった。資金

面や調理施設が備わった場所の選定や衛生管理、周知方法、学校や地域との連携等、実施希望する団体の意向に沿った地域の実情にあった活動ができる支援体制づくりが重要ととらえる。引き続き社会福祉協議会、関係団体と連携して各種補助金を活用し多くの団体に

参画して頂けるよう支援に努めたい。

議員 今後希望されている地域も含み、各生活応援センターごとに開催できるようになれば良いと思うが。

子ども課長 推奨しているので各地域で開催の声があれば対応していきたい。



拠点避難所の一つ
双葉小学校体育館



深澤秋子



議員のこちら
動画は深澤秋子

質問項目

- ・保健福祉行政について
- ・パートナーシップ制度について
- ・防災行政について

ジェンダー…生物学的な性とは異なる多義的な概念であり、性別に関する社会的規範と性差を指す。

子ども食堂…子どもたちが無料または安価で食事を提供される施設や活動のこと。これらの施設や取組は、食品の提供だけでなく、安全な場所での社会的な交流や学習を行う場としても機能することも。